

# 都市再生整備計画

おうみちく  
青海地区

にいがた いといがわ  
新潟県 糸魚川市

平成27年2月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	糸魚川市	地区名	青海地区	面積	237 ha
計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度				

### 目標

子どもからお年寄りまで安心して暮らせる、安全なまちづくり

小目標1:安全に通学ができる生活の道づくり

小目標2:安心して生活するための防災機能の充実

### 目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

青海地区全体

・糸魚川市総合計画において、市民生活重視の立場に立った市民参画による計画づくりや実施をすることにより、市民と行政が一体となったまちづくりを進めることとされている。その基本目標の一つに「美しく快適な住みよいまちづくり」が位置づけられている。

・青海地区は、東西に細長く日本海に面し、背後には山林が迫る狭隘な地形をなし、南北を分断する形で一般国道8号及びJR北陸本線が通過し、加えて北陸新幹線が新たに建設されている。また、セメント等石灰石産業を主とする大手企業があり、朝夕の通勤通学時においては、慢性的な交通渋滞となっている。このような状況により、青海地区の住民からは、快適に暮らせる居住環境の整備が要望されている。

青海地区東部

・平成1年に須沢東部土地区画整理事業が完了し、宅地の供給ができるようになったことにより、近年、人口が増加している。

・地域内には、須沢、今村新田、八久保、田海の4公民館を有し、この公民館単位で自治会活動を展開している。

・また、地域の伝統を受け継ぐ「田海神楽クラブ」が毎年4月に地域の子も達と共に獅子舞と踊りの巡業を行い、市道、県道を練り歩き、また、秋季には各地区において、子ども神輿を行うなど、地域コミュニティ活動が活発な地域である。

・旧来の市街地においては、住家が連担しており、通学路となる道路の幅員も狭く、特に冬季においては通学時における子ども達の安全確保が充分ではない状況となっている。

青海地区西部

・青海駅周辺においては、JR北陸本線青海駅や一般国道8号等の交通基盤施設が整備されており、スーパー、郵便局、医院、銀行、交番等の生活基盤施設が整い、1つの街区を形成している。

・地域内には、寺地、名引、東町、中央、西町の5公民館を有し、この公民館単位で自治会活動を展開しているところである。

・地域内では、子ども達による神輿の練り歩きのほか、地域の伝統を受け継ぐ「竹のからかい」保存会により、国指定重要無形民俗文化財である「竹のからかい」を青海駅前の県道姫川港青海線及び橋立青海停車場線にて行われている。

・旧来からの市街が主であるため、道路の幅員が狭く、歩行者の安全確保が求められる。

・また、旧来からの市街で木造住家が連担しており、かつ、公園整備が無いエリアがあるため、特に大規模火災発生時における避難所の整備が求められる。

### 課題

子どもからお年寄りまで安心して暮らせるためには、安全な道づくり及び防災機能の充実が課題である。

・通学など歩行者が歩きやすい、安全な居住環境をつくるための生活の道づくり。

・地域住民の安心、安全を確保するため、地域の防災力を高める避難所の整備。

### 将来ビジョン(中長期)

「だれもが清潔で安全・安心に過ごせる空間の形成」

糸魚川市都市計画マスタープランでは、まちづくりの構想・方針の設定として、旧来の市街地の中で比較的密集しているエリアにあっては、居住環境の改善を図るため、建物の不燃化の促進と生活道路の拡充を進める方針を設定している。

「だれもが清潔で安全・安心に過ごせる空間の形成」

同マスタープランのまちづくりの構想・方針の設定として、公園・緑地や農地については、災害発生時に避難所として活用できるよう、必要な周辺施設整備を進める方針を設定している。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
安全に通行できる人数の増加率	%	本計画の道路整備により、安全に通行できる利用者の増加率	道路の改良等により、歩行者が安全に歩きやすい道づくりを目指す	0%	平成24年度	36.2% 平成29年度
避難所となる公園の未整備率	%	半径300m以内の避難可能な公園等の未整備率	歩行により概ね5分(300m)で移動できる避難可能な公園の整備を目指す。	4.1%	平成24年度	2.0% 平成27年度
地域環境美化活動参加者数	人	青海地区の環境美化活動への参加者数	環境美化等のまちづくり活動を通じて、地域コミュニティへの参加を促すことにより、住みよいまちづくりを目指す。	2,700人	平成24年度	3,000人 平成29年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関の協議により、道路計画の作成後、地元関係者等への趣旨説明と協力要請を行う。</li> <li>道路改良工事の早期実施に取り組み、通学路・生活道路としての安全性の向上を図る。</li> <li>老朽化して危険な道路側溝の改修、水路の蓋掛け等により、狭隘で歩きにくい道路を拡幅し、歩行者に安全な道づくりを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(市)三峯線事業(基幹事業)</li> <li>・(市)青海通線事業(基幹事業)</li> <li>・(市)ぬな川大坪線事業(基幹事業)</li> <li>・(市)田海仲島1号線ほか事業(基幹事業)</li> </ul>
<p>整備方針2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の安心・安全の確保のため、地元の国重要無形民俗文化財である「竹のからかい」をアピールした「竹のからかい広場」を整備し、大規模火災発生時における避難場所を確保すると共に、周辺住民の憩いの場、ふれあいの場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹のからかい広場整備事業(基幹事業)</li> <li>・竹のからかい広場整備事業(オブジェ設置)(提案事業)</li> </ul>
<p>整備方針3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域で自発的に行われる清掃活動及び緑化活動等のまちづくり活動を支援することにより、地域コミュニティの向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり活動支援事業</li> </ul>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ活動</li> </ul> <p>青海地区における伝統行事の継承や、コミュニティ活動を活発にし、快適な生活環境を創出し、魅力ある地域づくりに地域一体となって取り組む。</p>	